

拠出金名：カンボジア地雷対策センター(UNDP/CMAC)信託基金(注1)

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				0千円(注2)	
国際機関等名	カンボジア地雷対策センター (英文名称・略称) Cambodian Mine Action Center(UNDP/CMAC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	0	-	-	-	-
平成18年度	0(注3)	-	-	-	-
平成17年度	32,100	300		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	CMACの運営費及び事業経費を支援するもの。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2005年のもの)				国際機関等の財政 (2005年度決算、千米ドル)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注4) (%)	当該年度の収入	9,181.18
1位	オーストラリア	1,526	49.5	当該年度の支出	8,778.74
2位	スウェーデン	622	20.1	次年度への繰越	402.44
3位	米国	289	9.4	会計検査機関名	
4位	日本	283	9.2	KPMG	
5位	ノルウェー	224	7.3		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
カンボジアでは18.1万km <sup>2</sup> (日本の国土の約半分)の国土に、400万から600万(推定)の地雷が埋設されており、経済開発の大きな障害となっている。CMACは地雷や不発弾の除去を担当する同国唯一の政府機関として地雷原の調査・除去のための訓練・啓蒙活動を実施しており、我が国としてもその取組を高く評価している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
99年に資金流用問題が発生したが、新事務局長の下で機構・財政・業務面での改革を行った結果、01年の外部監査では問題の多くが改善されたと評価された。我が国をはじめドナー諸国はCMACのかかる改革努力を前向きに評価すると共に、改革を引き続き支援していく必要性について確認している。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		2,095人 0.00048%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
なし(CMACはカンボジアの政府組織であるため)					

(注1) UNDPが管理する信託基金は2005年末をもって終了し、06年からはUNDPは自らが管理するプロジェクトに各国からの拠出金を直接投入している。また、このUNDPが管理するプロジェクトの規模が徐々に減少する中で各国の二国間での支援規模が拡大している。

(注2) 本基金に対し、平成19年度には我が国から拠出はない。

(注3) 平成18年度には我が国から拠出はない(平成17年度補正予算にて認められたASEAN統合支援基金の一部として組み込まれた。)

(注4) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。